

アルファクラブ武蔵野(株) (さいたま市大宮区)



自社ファンドを通じエンディングプラットフォーム

「SouSou」運営会社への出資・事業連携

大手互助会のアルファクラブ武蔵野(株)は、(株)パラダイムシフトの子会社PSキャピタル合同会社支援のもと、ライフエンディング領域におけるIT・テック企業を中心に、葬儀と関連する先端技術を保有する企業への投資を行なうコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)「LifeShift Innovation1号ファンド」を通じて、エンディングプラットフォーム「SouSou」を展開する(株)そうそうに対し、出資・事業連携を決定した。

国内では高齢化が進み、人生の終末期に向けた備えや遺族の手続き負担、遺思の継承といった課題があるなか、同社はこれまで、「メタバース霊園 風の霊」「AI故人サービス Revibot」を通じて、生前からの情報整理を促進し、スマホ内のデータやSNSといった「デジタル遺品」を包括的に管理するプラットフォームの提供を進めてきた。

今回出資を決定したSouSouは、法的根拠のある電子署名やデータの安全な保管・開示、そして逝去判定のデジタル化などのテクノロジーの力により、安心・確実にその人の想いを未来に届けるための基盤となるプラットフォー

ム。なかでも、マイナンバーカードを活用することで遺族等の届出に依存せず故人の逝去の可能性を自動検知することが可能な「デジタル逝去判定」は、保険・金融・葬祭業界に加え、生活インフラへの応用も可能で、遺思とデジタル遺品の一元管理(カスタマーデータプラットフォーム事業)が実現できれば、将来的に重要な社会インフラとなる可能性があると判断し、出資・事業連携に至った。

今回の決定により可能になるのは、1つ目が、そうそうの有するアセット(各種の経営資源)とアルファクラブ武蔵野のライフエンディングデータ(意向・逝去情報)を連携させることで新たな付加価値を創出すること。2つ目は、業界内外のパートナー企業と連携したユースケースの開発と社会実装の加速。そのほか、各自治体と死亡診断書・死亡届・火葬許可証などの死後手続きを連携させ、文書DXによる業務効率化の実現も視野に入れている。

TEL●048-650-3030

イワタ(株) (東京都江戸川区)



遺体処置製品のユーザー90人で

座談会を開催

エンバーミング薬品や遺体処置薬品・道具、脱脂綿、除菌剤等の遺体処置全般に関わるメーカー兼商社であるイワタ(株)は、7月14日、同社の製品ユーザーが一堂に会する5回目の座談会を、東京・曳舟の曳舟文化センターで開催。全国から納棺師や湯灌事業者、葬祭事業者など過去最高の約90人が参加した。

座談会は、まずイワタ・岩田壮一郎社長と(株)島田商店・嶋田淳社長が主催者として開会挨拶。続いて、参加者が各テーブルで自己紹介をしたのち、遺体専門ケア・メイクを行なうアイシス・代表の齋藤敦子氏が遺体処置における腹水抜きや美創造造形修復剤(シリコン剤)の使用法の説明、および唇の乾燥を防ぐ新商品(クリーム)を紹介した。次に、日本トレードエンバーミングサービス代表の馬場泰見氏がエンバーミングをテーマに講演し、午前中の最後は特殊処置講習が紹介された。

昼食休憩を挟み、午後は(株)キュア・エッセンス社長の宿原寿美子氏が「ご遺体の顔の変色カバーと軽度復元〜補色と復元の基本〜」をテーマに講演を行なった。



各講演後の質疑応答では時間を長めに割り、参加者同士で情報共有するとともに、参加者の技術力を向上させる機会となった。また、遺体処置器具・エアブラシや舞台用メイク用品の商品展示や実演も行なわれた。同会は来年も実施する予定。

TEL●03-3616-1234 FAX●03-3616-4649

(株)そうそう (埼玉県川口市)



マイナンバーカードを活用した

「デジタル逝去判定」機能を提供開始

エンディングプラットフォーム「SouSou」を構築する(株)そうそうは、新機能「デジタル逝去判定」の提供を開始した。

同プラットフォームは、家族や友人などへ生前の想いを残すエンディングノート、死後に大切な人へ手紙を送る機能などをアプリ上に集約したものである。

少子高齢化、単身世帯の増加、核家族化などが進むなか、「没後の意思や必要な手続きをどのように家族等に伝えるか」は社会的な課題である。他社のサービスでは逝去を確認する手段として、「本人に定期的なログインを求める」「残された人による死亡診断書などの書類提出が必須」などにとどまり、漏れのリスクや負担がかかることが指摘されていた。

同社は、利用者が逝去した可能性をシステム上で自動検知し、利用者が生前に指定した管理者（逝去を判定してもらう人）に最終的な判定をしてもらう仕組みとして「デジタル逝去判定」を実装。逝去後、アプリに登録された情報をより確実に伝えられる仕組みを実現した。この判定機能

は、myFintech(株)が提供する「現況確認サービス」を活用し、利用者のマイナンバーカードに搭載される電子証明書の有効性を日次で検証する。電子証明書が失効した場合、生前に登録した管理者へ自動確認し、最終的には顔認証システムを用いた法的根拠のある電子署名で逝去事実を確定する。

確定した逝去事実を互助会会社や葬儀保険事業者等に提供することで、葬儀後のアフターフォローの高度化や保険支払いの高度化・迅速化につなげていく。

デジタル逝去判定を含むエンディングプラットフォーム構想は業界内外で高い評価を獲得し、去る6月には事業シナジーの高いCVCファンドや事業会社からの資金調達も実施した。調達した資金をもとに、今回の新機能を皮切りに、外部サービスとのデータ連携や死後手続きの完全オンライン化など、さらなるサービス強化を進めていくとしている。

E-mail ● info@sousou-official.com

(株)ハリカ (東京都板橋区)



カタログギフトの自動登録・管理システム

「即ピット」

各種ギフトや記念品の企画・販売等を手がける(株)ハリカは、カタログを専用機器で素早くスキャンし、連携したスマートフォンで使用実績が確認できる自動読み取りシステム「即ピット」を葬祭事業者向けに展開する。

返礼品は後日送付の手間などから、葬儀当日に渡す即返しの需要がふえている。一方、カタログギフトは敬遠され、ほとんど使われていない。これは、カタログギフトを使用するにあたって顧客の管理番号を登録する必要があり、手間を要するためだ。

同社がこのたび市場に投入した即ピットは、葬儀前に納品されたカタログを数量にかかわらずまとめて読み取り、葬儀後に再度読み取ることで、使用実績を容易に蓄積できるシステムである。

残ったカタログは返品する必要がなく、食品ギフトと異なり賞味期限がないことから、次の葬儀まで在庫として保管できる。豊富な商品ラインナップから会葬者が好みの品を選べるのも、カタログギフトの強みだ。面倒な管理番号の登録作業がなくなり、スタッフの労力も軽減。即ピット



は、カタログギフトを即返しに対応させる画期的なシステムといえる。

なお、即ピットは同社のカタログギフトを導入することで、比較的廉価なレンタル方式で利用できる。

TEL ● 03-3962-2111

(株)保志 (福島県会津若松市)



十時啓悦「祈りのかたち2025」展開催

十時氏監修の新商品「時跡」ほか漆芸作品78点を展示

仏壇・仏具・位牌の製造販売を手がけるアルテマイスター(株)保志は、東京・銀座で運営する「厨子屋 銀座本店」にて、「十時啓悦『祈りのかたち2025』展」を6月28日から8月18日まで開催した。

本企画展では厨子のほか、花器やお香入れ、盃といった調度品を中心に、木漆工芸家である十時啓悦氏の「祈りのかたち」に焦点を当てた漆芸作品78点を展示。なかでも、五角形をテーマに、星や宇宙を連想して制作された5点の新作「五稜厨子」は、本展ではじめて披露された。十時氏は企画展の開催にあたり、同社が約半世紀前に漆を植林した福島県会津地方の黒森地区にて採取された漆の品質を確認したうえで、作品の一部に黒森漆を使用したという。

ギャラリーでは企画展に連動し、十時氏が講師を務め、陶器や漆器の金継ぎを行なう「漆つくろいワークショップ」も5回にわたって実施された。

また、企画展に合わせて新商品の厨子「時跡^{じせき}」も発表した。時跡は十時氏の監修のもと開発し、特徴的な錆付け表現を忠実に再現、高い品質を実現した。



TEL 03-3538-5118

創業20年～・10万件以上の実績。NHKや朝日新聞を始め、多くのマスコミから紹介。

お寺の紹介は まごころ供養の 八正会

低額で柔軟な対応が大好評！ 急なご依頼も先ずはご一報ください！



- ◆ 仏教各宗派。神道、キリスト教もご相談下さい。
- ◆ 関東・関西全域。その他の地域もご相談下さい。
- ◆ 全国500名以上。全僧侶に在籍寺院あり。
- ◆ 到着は1時間前を徹底。出発時間から管理。
- ◆ 位牌はLINEで事前確認。誤字脱字は未然に防止。

まずは読んで下さい！ 当社スタッフと提携僧侶が登場！
オリジナル僧侶派遣マンガをお送りします。

はっしょうかい ビーウェイ
まごころ供養の八正会／株式会社B-WAYグループ埼玉県川口市芝新町 9-3 蓮浄院ビル1F <https://zensyu-ren.co.jp>

TEL: 048-264-7694 FAX: 048-264-7695

